

一、後者すべし。
一、後者すべし。
一、後者すべし。

お年玉附の郵便葉書等の発賣に関する法律（案）

第一條

郵政省は、お年玉附の年賀郵便葉書を發賣し、その受取人に対し、くじびきによりお年玉として当せん金品を贈與することとする。

前項の当せん金品の金額は、郵便の総額は、その發賣額の百分の五に相当する額をこえてはならない。

郵政省は、公共の福祉増進を目的とする事業を行う団体に対し、寄附金附の郵便切手又は郵便葉書を發賣することができ、前項の団体の選定については、郵政大臣、郵政審議会の審議を経て決定しなければならない。

第一項の寄附金附の郵便切手又は郵便葉書には、寄附金を受ける寄附金額を明記し、表示しなければならない。

前項の規定により寄附金の送付を受けた団体は、郵政省において、郵便切手又は郵便葉書に寄附金を受ける団体及び寄附金額を表示したために費した経費、賣さはきに費した経費、周知宣傳又は勸奨のために費した経費その他特に当該寄附金募集のために費した経費であつて郵政省が当該団体と協議して定めたる金額を郵政省に納付しなければならない。

第三條 郵政省は、第一條の規定によるお年玉附の年賀郵便葉書に前條の規定により寄附金を附加して發賣することができ、

第四條 お年玉附の年賀郵便葉書の当せん金品の備給は、六箇月間これを行わねばときは、時効によつて消滅する。

第五番 年玉附の年賀郵便葉書の当せん金については、所得税を課する。
ない。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。但し、公布は、成立の日から五
月以内でなければならぬ。

- 1 郵政省は、年賀郵便葉書の当せん金の徴収に必要とする事項を定め、その施行期日及びその施行の順序を定める。
- 2 前項の施行期日及びその施行の順序は、郵政省の定める。
- 3 年賀郵便葉書の当せん金の徴収に必要とする事項を定め、その施行期日及びその施行の順序を定める。

理 由

年賀郵便の利用勸奨及び便益増進のため、年玉附の年賀郵便葉書を
郵する等の必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

年賀郵便の利用勸奨及び便益増進のため、年玉附の年賀郵便葉書を
郵する等の必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。



福引付年賀はがきの發賣について

郵政省では、從來コミュニティー・チェストの歳末の寄附金募集に協力するため、特別切手（二円の切手を三円で賣り、一円の超過分は、寄附金としてコミュニティー・チェストの收入とする。）を發行して來たが、今年末は、更に一步を進めて、福引付年賀はがき（二円のはがきを三円で賣り、超過分をコミュニティー・チェストの收入とするほか、このはがきの購入者又はその年賀狀の受領者に対して、くじびきで景品を贈與する。）の發行を計画してゐる。

現行法のもとにおいて、郵政省は、このような事業を適法にせしめるであらうか。

法律上次のような諸点が問題となる。

第一 寄附金の取扱について

一、郵政省設置法上、郵政省は、コミュニティー・チェストのためにこのような寄附金の取扱を行ひ権限を有するか。

1

イ 郵政省設置法第三條第一項第一号の郵便事業に含まれるか。

ロ 同條第一項第二号の郵便振替貯金事業（コミュニティー・チェストのため）と考へべきか。

ハ 同條第二項の「前項の事業に附帯する業務」に含まれるか。

ニ 切手の販賣に條件（コミュニティー・チェストへの寄附）をつけることは、郵便法上許されるか。

三、このような寄附金の取扱のための特別なサービスは、公金その他の公の財産を、公の支配に属しない慈善事業に支出し、又はその利用に供するものとして憲法第八十九條に違反しはしないか。

第二 福引附年賀狀の發賣について

一、福引業務を行ふ主体は、郵政省か、慈善団体か。前者とすれば、それを行ひ得る根拠は？

二、福引に関する費用を負担するのは郵政省か、慈善団体か。前者とすれば、その財政法上の根拠は？

参照條文

○ 郵政省設置法

(郵政省の任務)

第三條 郵政省は、左に掲げる國の公共事業を一体的に遂行する責任を負う唯一の行政機關とする。

一 郵便

二 郵便貯金、郵便爲替及び郵便振替貯金

三 簡易生命保険及び郵便年金

2 郵政省は、前項の事業の外、前項の事業に附帶する業務、電氣通信省から委託された業務及び印紙の賣り上げきに関する業務並びに年金及び恩給の支給その他國庫金の受入拂渡に関する業務をつかさどる。

3 (略)

(郵政省の権限)

第四條 郵政省は、この法律に規定する所掌事務を遂行するため、左に

掲げる権限を有する。

一 法令の定めるところに従い、予算の範囲内で、所掌事務の遂行に必要な支出負担行為をすること。

二十一 法令の定めるところに従い、収入金を徴收し、所掌事務の遂行に必要な支拂をし、並びに受入及び支拂に関する報告及び會計の方法を定めること。

二十三 前各号に掲げるものの外、法令に基き郵政省に屬させられた権限

(郵務局の事務)

第八條 郵務局においては、左に掲げる事務をつかさどる。

八 郵便切手その他郵便料金をあらわす証票を発行し、及び賣り上げ、並びに封筒、封かん紙その他郵便の利用上必要な物及び印紙を賣り上げること。

○ 郵便法

第二章 郵便物及びその料金

第二十二條 (第二種郵便物) 郵便葉書は、第二種郵便物とし、通常葉書及び往復葉書とする。

第二種郵便物の料金は、通常葉書にあつては二円、往復葉書にあつては四円とする。

(第三項以下略)

第三章 郵便に關する料金の納付及び還付

第三十二條 (料金納付の方法及び時期) 郵便に關する料金は、この法律の別段の定めのある場合を除いて、郵便切手でこれを前納しなければならぬ。

料額印面のついた郵便葉書については、これを郵便物として差し出したときに、その印面にあらわされた金額の限度において料金の納付があつたものとする。

(第三項略)

第三十三條 (切手額の発行及び賣さばき) 郵便切手その他郵便に關する料金をあらわす証票は、郵政大臣が、これを發行し、郵政省及び別に法律の定める賣さばき人において、これを賣りさばく。

第五章 郵便物の特殊取扱

第五十七條 (特殊取扱の種類) 郵政大臣は、郵便物の特殊取扱として、この章に定めるところにより、書留、保険扱、速達、引受時刻証明、配達証明、代金引換、特別送達及び年智特別郵便の取扱を実施する。

第六十七條 (年智特別郵便) 郵政大臣は、省令で年智特別郵便の取扱に關し必要な事項を定めることができぬ。

○ 郵便振替貯金法

第七條 (業務の態様) 郵便振替貯金においては、加入者のために口座を設けて、左の取扱をする。

一 加入者又は加入者でない者の拂い込む金額を口座に受け入れること。

二 加入者の口座から加入者の指定する他の口座へ貯金の振替をすること。

三 加入者の口座の貯金を拂い出して、その加入者又はその他の者に拂出金を拂い渡すこと。

第十八條 (拂込、振替及び拂出の料金) 拂込、振替及び拂出の料金は、左の通りとする。

一 拂込

通常拂込

拂込金額五百円以下の場合 十円

同 五百円を超える場合 二十円

電信拂込(略)

二 (以下略)

第十九條 (拂込及び拂出の料金の免除及び低減) 略

Bill for Sale of Post Cards with
New Year's presents, and Others.

お年玉つき郵便葉書等の発売に関する法律案

お年玉つき郵便葉書等の発賣に関する法律

第一條 郵政省は、くじびきによりお年玉として金品をつける郵便葉書（以下「お年玉つき郵便葉書」という。）を発行することができる。

2 前項の金品の金額及び価格の総額は、お年玉つき郵便葉書の発行総額の百分の五に相当する額をこえてはならない。

第二條 前條第一項の金品は、お年玉つき郵便葉書の受取人又はその一般承継人（お年玉つき郵便葉書が配達されなかつたときは、その購入者又はその一般承継人）に、もよりの郵便局において支拂い、又は交付する。

3 前項の支拂又は交付の手續は、郵政省令で定める。

第三條 前條の金品の支拂又は交付を受ける権利は、六箇月間行わないときは、時効によつて消滅する。

第四條 郵政省は、社会福祉の増進を目的とする事業を行う団体に対す

る寄附金を郵便に関する料金に加算した額の郵便切手又は郵便葉書を発行することができる。

2 前項の団体は、郵政大臣が、郵政審議会にはかつて指定する。

3 第一項の郵便切手又は郵便葉書には、同項の団体の名稱又は記号及び寄附金の額を明確に表示しなければならない。

4 郵便局、簡易郵便局又は郵便切手類賣さは、所において第一項の郵便切手又は郵便葉書を購入した者は、その購入によつて郵便切手又は郵便葉書に表示されている額の寄附金をその団体に寄附したものとす

る。

5 郵政省は、郵便振替貯金の方法により前項の寄附金を取りまとめ、遅滞なく第一項の団体に交付しなければならない。

6 前項の規定により寄附金の交付を受けた団体は、第一項の郵便切手又は郵便葉書の発行及び賣さは、そのため郵政省において特に要した費用を郵政省に納付しなければならない。

7. 前項の費用の額は、郵政省と第一項の団体との協議によつて定め
る。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

理 由

お年玉つき郵便葉書並びに社会福祉の増進を目的とする事業を行う団
体に対する寄附金を加算した郵便切手及び郵便葉書を発売することがで
きるようにする必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

POSTAL WINDOW LAW (DRAFT)

(Object of this Law)

Article 1. The object of this Law is to extend Postal Services to remote areas and to make readily accessible to all the people such services in an economical operation as possible by authorizing the Minister of Postal Services to entrust the service which is to be conducted at the window of post office (hereafter called "postal window business"), to local public bodies and other non-profit organizations as set forth in this Law.

(Case where Postal Window Business is entrusted)

Article 2. In case where there is a need to offer any service relating to the postal window business, the Minister of Postal Services is authorized to entrust the ~~with such service by contract~~ in accordance with the provisions of this Law, provided that the value of the business ~~is deemed~~ remarkably so small that he considers it economical to entrust the said service to the organizations above-mentioned and finds no trouble in the operation thereof.

(Qualification of Trustee)

Article 3. The person who is entrusted (hereafter called "Trustee") by the Minister of Postal Services with the postal window business shall be limited to anyone of those enumerated below:

1. Local public bodies;
2. Agricultural Cooperative Associations;
3. Fishery Cooperative Associations;
4. Consumers' Livelihood Cooperative Associations; (Except that one by occupation)

原本
不明
瞭

裏
面
白
紙

2. Local public bodies are authorized to conduct the postal window business (hereafter called "entrusted business") entrusted by the Minister of Postal Services by virtue of the provisions of this Law, regardless of the provisions of Paragraphs 2 and 4 of Article 2, Paragraphs 1 and 2 of Article 264, Paragraphs 2 and 3 of Article 281 and Article 292 of the Local Autonomy Law (Law No. 67 of 1947).

3. The cooperative associations enumerated in Items 2 to 4 (hereafter called "associations") are entitled to conduct the entrusted business in accordance with the provisions of this Law, regardless of the provisions of the Law concerning the respective association.

(Trust Contract)

Article 4. The Minister of Postal Services is authorized to conclude at his discretion, a contract for conducting the postal window business (hereafter called "trust contract") at the place designated by the Minister of Postal Services with the organization referred to in Paragraph 1 of the preceding article.

2. In case the Minister of Postal Services concludes a contract by virtue of the provisions of the preceding paragraph, and when local public bodies and associations both wish to comply with the conclusion of a contract on the conditions of the said contract, the Minister of Postal Services shall conclude the contract with the local public body in preference to the association.

(Period of Contract)

Article 5. The period of a trust contract shall be three years. However, such period may be renewed by mutual consent between the parties concerned.

原本
不明
瞭

裏
面
白
紙

(Scope of Business to be Entrusted)

Article 6. The business to be entrusted by trust contract shall be prescribed by the Ministerial Ordinance within the scope of postal window business relating to the mail, postal savings, postal money order, post office life insurance and annuities.

(Establishment of Postal Agency)

Article 7. The trustee shall establish the facilities for conducting entrusted business (hereafter called "postal agency") ^{at} ~~in~~ the place designated by the Minister of Postal Services.

(Hours of Attendance, etc.)

Article 8. The hours of attendance and the nonbusiness days shall be prescribed by the Ministerial Ordinance, so as to conform to convenience of the patrons.

(Handling of Cash of State)

Article 9. The trustee is authorized to receive and disburse, or keep in custody, such cash of the state as relating to the entrusted business in accordance with the ~~provised~~ procedure prescribed by the Minister of Postal Services.

(Law and Regulations applicable to Entrusted Business)

Article 10. The handling of the entrusted business at a postal agency shall be regarded as the handling of the organization of the Ministry of Postal Services, as for the application of the provisions of the Mail Law (Law No. 145 of 1947) (except Article 20), Postal Savings Law (Law No. 144 of 1947), Postal Money Order Law (Law No. 59 of 1948), Post Office Life Insurance Law (Law No. of 1949) and Post Office Annuities Law (Law No. of 1949).

原本不明瞭

裏面白紙

(Persons to Engage in Entrusted Business)

Article 11. The officers and employees of the organizations who engage in the entrusted business shall be regarded as those who are engaged in the public service in accordance with laws and regulations.

2. The individuals referred to in the preceding paragraph shall not be subject to the provisions of the National Public Service Law (Law No. 120 of 1947).

(Basic Principle of Performance of Entrusted Business)

Article 12. The trustee shall conduct by Minister himself the entrusted business faithfully and impartially for the public benefit.

2. In case the trustee is an association, the association shall impartially offer service to any person other than the members of the association, regardless of the provisions of the law governing the association.

(Facilities and Expenses for Agency)

Article 13. Except in the cases otherwise provided for in this Law, the trustee shall furnish all the facilities and pay the expenses necessary for execution of the entrusted business.

(Sale of Postage Stamps, etc. and Stamps)

Article 14. The trustee shall, as to the application of the provisions of Articles 5, 7 and 11 of the Law concerning the Sale Agency of Postage Stamps, etc. and Stamps (Law No. of 1949), be regarded as the sale agency of postage stamps, etc. and stamps referred to in Paragraph 1 of Article 2 of the same law.

原本
不明
瞭

裏
面
白
紙

(Commission for Business)

Article 15. The Minister of Postal Services shall pay to the trustee the commission for the conduct of the entrusted business (except the business of the sale of postage stamps, etc. and stamps) .

2. The commission referred to in the preceding paragraph shall be fixed per month according to the volume of entrusted business referred to in the same paragraph.

3. The amount of commission per month shall not exceed 20,000 Yen, including the commission for the sale of postage stamps, etc. and stamps.

(Use Free of Charge of Business Articles)

Article 16. The Minister of Postal Services is authorized to allow the trustee to use free of charge the business articles of the state in case he considers it necessary for proper and smooth execution of the entrusted business.

(Mailing of Free Matter)

Article 17. The trustee is entitled to deposit, free of charge, for mailing the mail matter relating to the entrusted business in conformity with the provisions prescribed by Ministerial Ordinance within the limits referred to in Article 20 of the Mail Law.

(Separation of Handling of Cash)

Article 18. The trustee shall receive and disburse, or keep in custody, the cash referred to in Article 9 and the business articles referred to in Article 16, separating them from other cash and articles.

(Supervision over Entrusted Business)

Article 19. The trustee shall, in respect to the entrusted business, be subject to the supervision of the Minister of Postal Services by virtue of the trust contract.

原
本
不
明
瞭

裏
面
白
紙

2. The supervision by the Minister of Postal Services in accordance with the provisions of the preceding paragraph shall be performed primarily by the postmaster of the post office conducting the collection and delivery service of mails at the area where the postal agency concerned is located and by the postal inspectors belonging to the Local Postal Inspection Bureau in charge of the relative area.

Supplementary Provisions:

This Law shall come into force as from the day when thirty days have elapsed from the date of promulgation.

原本不明瞭

裏面白紙